

丸満産業株式会社



主力商品・本社社屋

- 本社所在地：愛知県海部郡大治町大字 北間島字柿木14番地
- 事業概要：防衛庁関係の幌・カバー 自動車用用品の製造・販売及びテント 倉庫製造・販売（施工）
- 常時使用する従業員：87名
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：20億円
(2025年10月期)
- 法人番号：1180001099328
- Web：https://www.maruman-sangyo.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長 武田 與人

ASI（人工知能）時代に、「人が人らしく働く」ための100億宣言

生成AIの進化は凄まじく、2027年末にはASIが登場すると予想されています。その時製造業はどうか。単なる効率化だけでなく、人間はAIやロボットのオペレーターに過ぎなくなります。それでは「人に優しい製造業」など到底実現できません。「7年で売上100億円」を目指す理由は、規模の拡大でなく来るべき時代に備え、社員がAIを「相棒」として使いこなし「創造的な価値」を生み出す人材へと進化するためです。まず企業が「年率7%以上の賃上げ」を断行し、社員の生活と誇りを守り抜く必要があります。その原資を生むために最新型ブリッジ型大型電子マシン+AIで生産効率を極限まで高め、2029年からは開発中の次世代技術「ホールガーメント+3Dプリンター+高機能膜材+新接合技術」による新製品を発売し、爆発的な成長軌道を描きます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円達成に向け、フェーズを2つに分けて推進する。
 【Phase 1：～2028年】ブリッジ型大型電子マシンの複数台と超大型プロッター導入及び工程監視AIにより、既存事業の生産能力を極限まで高め、賃上げ原資となる高収益体質（粗利率30%超）を確立する。
 【Phase 2：2029年～】開発中の「ホールガーメント×3Dプリンター」融合製品を市場投入し、防衛・宇宙・建築分野で独占的地位を築き、売上高年率20%以上の急成長を実現する。

課題

「年率7%賃上げ」に耐えうる超・高生産性の実現
 固定費（人件費）の大幅上昇を吸収するため、既存工程の徹底的な自動化とAIによる品質保証で、一人当たり生産性を現在の2倍以上へ引き上げる。
 「創造的人材」へのリスクリング
 ASI時代を見据え、社員が単なる作業員から、AIやロボットを指揮・監視し、改善を提案できる「クリエイター」へと変革するための教育と評価制度の構築。
 次世代技術（2029年モデル）の開発完了
 「編む（ニット）×積層する（3D）×覆う（膜）」という異種技術を融合させた量産ラインを2028年までに完成させる。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 【直近の投資】最新鋭設備による生産能力の極大化
 ブラザー製ブリッジ型プログラム式大型電子マシンを複数台導入。熟練工に依存していた大型厚物縫製（装備品、エアバッグ、シート等）を自動化し、圧倒的な高速・高精度化を実現する。合わせて「稼働補助ロボット」を導入し、ワークの搬送・セットを順次無人化。生成AIによる「工程監視・品質保証システム」を構築し、検査人員をゼロに近づけることで、徹底した省人化と品質安定を両立する。
- 【将来の飛躍】次世代「ソフト構造体」の開発（2029年～）
 島精機製作所のホールガーメント技術と3Dプリンター、当社の膜加工技術を融合。「縫い目のないロボツスキ」や「宇宙展開構造物」など、従来技術では不可能な新次元の製品を2029年より発売し、売上を一気に拡大させる。
- 【経営戦略】異次元の賃上げと人材高度化
 設備投資で得た生産性向上分を、内部留保ではなく「年率7%以上の賃上げ」として社員に還元する。「〇っとイノベーション（全社AI活用）」により間接業務を削減し、生まれた時間を「創造的業務」に充てることで、ASI時代に生き残れる強い組織を作る。

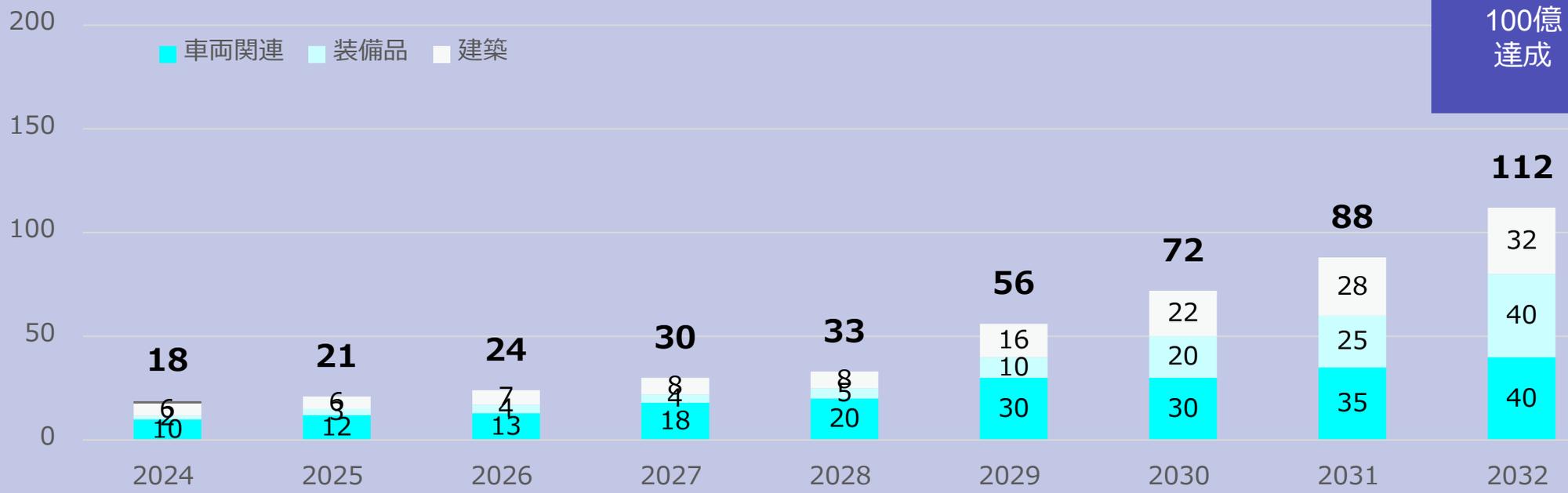
実施体制

社長直轄の「イノベーション推進室」が、設備導入とAI実装を強力に推進。技術本部とものづくり本部が連携し、2028年までの「生産性極大化」と、2029年以降の「新技術量産」を並行して進める。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

(売上高100億円実現の目標)

売上高



100億
達成

【Phase 1 : ~2028年】

【Phase 2 : 2029年~】